

参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針（案）
市民説明会 開催記録（会議内容要点筆記）

日 時	令和2年1月20日（月）18：30～19：30
場 所	メイトム宗像 202会議室
参加者	市民3名
事務局	コミュニティ協働推進課（中野、中脇、成瀬、神）

1. 事務局あいさつ（18：30～18：35）

「参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針（案）」は、約2年をかけて、宗像市市民参画等推進審議会の委員の意見をふまえて作成したものである。市民の普段の活動がまちづくりにつながっていることや市民参画・協働を進めるための基本的なことを記載している。参加者の皆さまから活発なご意見を頂戴したい。

2. 指針（案）の説明（18：35～19：00）

- ・事務局からパワーポイントにより指針案について説明。

3. 質疑応答（19：00～19：30）

（質疑）

パブリック・コメントとして意見を出しても、その意見がどのように反映されているのか分からない。またすでに市民参画条例があるのにも関わらず「参加」を大きくクローズアップしたのかが分からない。なぜ基本指針をつくるようになったのか、これを策定すればどういう風に市民の方に関心をもってもらい、前に進むのか。市民に分かり易いことが参加の動機になるのかにかかわらず、市民への情報公開が以前より遅れており、手間暇もかかる。今日の説明会も周囲に呼びかけてもなかなか人は来ない。地元の活動に活かそうなどといったメリットや動機がないと出かけてくる人は少ないと思う。

（回答）

パブリック・コメントでいただいた意見は、その意見を確認し、原案通りか、修正するかを検討し、その結果をホームページ等で公開している。

今回、「参加」をクローズアップしたのは、まちづくりに関心が無い人に関心をもっていたきたいと思い、あえて「参加」という言葉を入れさせていただいた。参画となると、ハードルがあがるため、まずは「参加」から気軽にかかわってもらいたく、この指針案の中に入れてさせていただいている。今までの市民活動市推進プランは、まちづくりに関心の

薄い市民や市職員では理解しづらいものとなっており、市民や職員においても分かり易くなるように整理して、この指針案を作成した。

(質疑)

市民が参画して物事を決定する機会が少ないことにごっかりしている。市民が関わりたいと考えるのは意思決定に関われるかどうか大きい。決定した後では参加動機として難しいのではないか。

本編の6ページに市民参画の現状と課題に市民参画が進んでいないと記載がある。進まない原因の調査・分析はどのようにしているのか記載がないが、記載するべきではないか。

パブリック・コメントを出した後に市民と意見交換をすることがなく、意見を出しても一方的になってしまうため無駄だと思う。市民がパブリック・コメントを出さない、審議会に応募しないのはなぜなのか、それに対して対策を出すべきではないか。

(回答)

意思決定に関わることについては、参画の手続きなど必要に応じて見直しを実施していく。

市民参加・参画については、多くの市民活動団体の方にも積極的にまちづくりに関わってもらっており、宗像市の財産であると認識している。今後もこの動きを進めていきたいが、全ての市民が参加しているわけではないため、市民参加を持ち出している。まちづくりに関心が薄い人に、自治会の行事に参加することやタウンプレスを読むことなども宗像のまちづくりに貢献しているということを認識してもらい、裾野を広げることで、その次に市民参画につながると考えている。

計画によってはパブリック・コメントの意見が少ない場合があることを認識している。市民参画の手続き、現状の制度はどうかなどについては審議会とも議論をしながら必要に応じて見直ししていきたい。

(質疑)

パブリック・コメントの意見が少ないことに関しては、件数も大事だと思うので、なぜ少ないのか審議会の中で審議していただきたい。審議会も補助金の審査に時間を割かれており、本来やるべき市民参画の進め方等の議論や検証が十分でないと思うので、是非取り組んでいただきたい。

(回答)

パブリック・コメントの件数が少ないのは、周知の方法が不十分であることが考えられる。審議会とともに、より多くの意見を出していただける環境づくりについて議論していきたい。今回策定する指針を通じて、市民に市民参加とはどういうことなのか、パブリック・コメントや協働の制度についても理解していただき、将来パブリック・コメントを出していただくことなどにつなげていきたいと考えている。審議会の本来的な役割についてはおっしゃるとおりである。今後、審議会の中で議論を深めていきたい。

(質疑)

パブリック・コメントを他の課も実施する場合、合同で説明会を行うことも必要ではないか。なぜ本指針案だけ説明会をしているのか。子ども・子育て関連などは市民の関心が高いと思うが、市民説明会がない。

相談に行っても前に進めるアドバイスもなく、まちづくりを進めていくうえで、それぞれの分野でコーディネートできる市の職員を育てないといけないのではないか。

(回答)

市民説明会をしているのは本指針のみとなっており、市の職員の中にパブリック・コメントをしていれば市民説明会は実施しなくても良いという認識があるかもしれないので、市民説明会を実施し、市民の意見を取り入れて策定を進めていくよう改善を図っていきたい。

市の職員がコーディネート力を身につけないとこれからの宗像のまちはよくなっていかないと考えている。推進目標に掲げている通りコーディネート力の向上は、意識してやっていきたいと思い指針に書き込んでいる。

(質疑)

市民参画条例では、計画等の策定にあたり、市民参画手続を1つ以上やればいいことになっている。重要な計画等については市民説明会をパブリック・コメントの実施後に、再度、実施するなど、市民と意見のキャッチボールをする必要があるのではないか。言えば何かが変わると市民が思えば、「言ったことが実現するよ」、「言える場所があるよ」と口コミで広がるのでそういった点を踏まえて市民参画条例の見直しを行ってほしい。

(回答)

市民参画条例の手続の見直しについては、どういう点を見直せばいいのか議論していきたいと思う。条例を策定したときのみなさんの思いもあり、策定後十数年が経ち宗像の市民によるまちづくりがどれだけ成熟してきたか、現状どうかを議論していきたい。ただ市民参画条例における市民参画手続だけが全てだと思ってなく、いろんな場面で市民のご意見を聞くことが多々あるため、そういう点も含めて市民参画と思っている。

= 散会 =